

基本計画書

基		本				計		画			
事項		記入欄								備考	
計画の区分		研究科の専攻に係る課程の変更									
フリガナ 設置者		コクリツダガクホウジン ミヤザキダガク 国立大学法人 宮崎大学									
フリガナ 大学の名称		ミヤザキダガクダクイン 宮崎大学大学院（University of Miyazaki Graduate School）									
大学本部の位置		宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地									
大学の目的		本法人及び本学は、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産を継承・発展させ、豊かな人間性と創造的な課題解決能力を備えた人材の育成を目的とし、学術・文化の基軸として、地域社会及び国際社会の発展と人類の福祉の向上に資することを使命とする。									
新設研究科等の目的		看護学を基軸として社会科学の視座と実践知を融合し、持続可能な地域社会のwell-beingを実現するために、ケアの革新とともに政策提言・組織変革・地域づくりにおける看護学の「知の創出・共創」をリードする実践者・教育者・研究者（トップリーダー）を養成することを目的とする。									
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	14条特例の 実施	
	健康科学研究科 [Graduate School of Healthcare Sciences]	年	人	年次 人	人	博士（看護学） [Doctor of Philosophy in Nursing]	保健衛生学関係 （看護学関係）	年月 第 年次	宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎県宮崎市清武町木原5200番地		
	看護学専攻 [Department of Nursing Science]	3	3	—	9			令和9年4月 第1年次			
	計		3	—	9						
同一設置者内における変更状況 （定員の移行、名称の変更等）		令和9年4月名称変更予定 看護学研究科→健康科学研究科 看護学研究科看護学専攻修士課程→健康科学研究科看護学専攻博士前期課程 健康科学研究科 心理学専攻（M）（6）（令和8年3月意見伺い） 農学工学総合研究科 資源環境科学専攻（D）[定員増]（1）（令和9年4月） 物質・情報工学専攻（D）[定員増]（3）（令和9年4月）									
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数						修了要件単位数			
		講義	演習	実験・実習		計					
	健康科学研究科 看護学専攻	7科目		2科目		0科目		9科目		16単位	
研究科等の名称				専任教員					助手	専任教員以外の教員 （助手を除く）	令和8年3月意見伺い
				教授	准教授	講師	助教	計			
新設 分	健康科学研究科 看護学専攻（博士後期課程）	人	人	人	人	人	人	人	人		
	健康科学研究科 心理学専攻（修士課程）	13 (13)	6 (6)	1 (1)	1 (1)	21 (21)	0 (0)	8 (8)			
	計	3 (3)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	7 (7)	0 (0)	10 (9)			
既設	教育学研究科 教職実践開発専攻（専門職学位課程）	16 (16)	7 (7)	2 (2)	3 (3)	28 (28)	0 (0)	— (—)			
	健康科学研究科 看護学専攻（博士前期課程）	12 (12)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	48 (48)			
	工学研究科 工学専攻（修士課程）	10 (10)	4 (4)	3 (3)	2 (2)	19 (19)	0 (0)	0 (0)			
	農学研究科 農学専攻（修士課程）	39 (39)	36 (36)	0 (0)	18 (18)	93 (93)	0 (0)	25 (25)			
	地域資源創成学研究科 地域資源創成学専攻（修士課程）	31 (35)	32 (34)	1 (1)	7 (7)	71 (77)	0 (0)	0 (0)			
	医学獣医学総合研究科 医科学獣医科学専攻（修士課程）	11 (11)	10 (10)	3 (3)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	0 (0)			
	医学獣医学総合研究科 医学獣医学専攻（博士課程）	54 (54)	21 (21)	3 (3)	3 (3)	81 (81)	0 (0)	0 (0)			
	農学工学総合研究科	57 (57)	21 (21)	2 (2)	2 (2)	82 (82)	0 (0)	0 (0)			
		26	29	0	4	59	0	0			

分	資源環境科学専攻（博士後期課程）		(29)	(29)	(0)	(4)	(62)	(0)	(0)			
	農学工学総合研究科 生物機能応用科学専攻（博士後期課程）		12 (13)	10 (11)	0 (0)	2 (2)	24 (26)	0 (0)	1 (1)			
	農学工学総合研究科 物質・情報工学専攻（博士後期課程）		27 (28)	27 (28)	0 (0)	4 (4)	58 (60)	0 (0)	0 (0)			
	計		279 (288)	195 (199)	12 (12)	42 (42)	528 (541)	0 (0)	－ (－)			
	合 計		295 (304)	202 (206)	14 (14)	45 (45)	556 (569)	0 (0)	－ (－)			
職 種			専 属			その他			計			
事 務 職 員			人			人			人			
技 術 職 員			498 (498)			0 (0)			498 (498)			
図 書 館 職 員			1,033 (1,033)			0 (0)			1,033 (1,033)			
そ の 他 の 職 員			5 (5)			0 (0)			5 (5)			
指 導 補 助 者			73 (73)			0 (0)			73 (73)			
計			0 (0)			0 (0)			0 (0)			
計			1,609 (1,609)			0 (0)			1,609 (1,609)			
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地		494,130㎡		0㎡		0㎡		494,130㎡			
	そ の 他		7,356,114㎡		0㎡		0㎡		7,356,114㎡			
	合 計		7,850,244㎡		0㎡		0㎡		7,850,244㎡			
校 舎			専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計	大学全体		
			136,960㎡ (136,960 ㎡)		0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		136,960㎡ (136,960 ㎡)			
講義室等・新設研究科等 の専任教員研究室			講義室		実験・実習室		演習室		新設研究科等の 専任教員研究室	大学全体		
			102室		914室		113室		21室			
図 書 ・ 設 備	新設研究科等の名称		図書 〔うち外国書〕冊		学術雑誌 〔うち外国書〕種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点	学部単位での 特定が不可能である ため、大学 全体の数	
	健康科学研究科 看護学専攻		622,586 〔183,846〕 (622,586〔183,846〕)		4,853〔 3,133 〕 (4,853〔 3,133 〕)		15,106〔4,489〕 (15,106〔4,489〕)		6,658〔6,658〕 (6,658〔6,658〕)	40,308 (40,308)		66 (66)
	計		622,586 〔183,846〕 (622,586〔183,846〕)		4,853〔 3,133 〕 (4,853〔 3,133 〕)		15,093〔4,475〕 (15,093〔4,475〕)		6,658〔6,658〕 (6,658〔6,658〕)	40,308 (40,308)		66 (66)
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費 の見 積り	区 分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	国費による		
		教員1人当り研究費等			－	－	－	－	－			
		共同研究費等			－	－	－	－	－			
		図書購入費		－	－	－	－	－	－			
		設備購入費		－	－	－	－	－	－			
	学生1人当り 納付金				第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次			
				－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要				該当なし								
大 学 の 名 称		宮崎大学									令和6年度入学定員増（20人） 「緊急医師確保対策」及び「経済財政改革の基本方針2009」による臨時定員増（10人（令和2,3年度））	
学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収 容 定 員 充 足 率	開設 年度	所 在 地			
教育学部 学校教育課程		年	人	年次 人	人	学士（教育学）	1.09 《1.08》	平成28年度	宮崎県宮崎市学園 木花台西1丁目1番 地			
医学部 医学科		6	100	－	620	学士（医学）	1.01 《1.00》	平成15年度	宮崎県宮崎市清武 町木原5200番地			
看護学科		4	60	－	240	学士（看護学）	1.03 《1.01》	平成15年度				

既設大学等の状況	工学部									
	工学科	4	370	3年次10	1500	学士（工学）	1.02 《0.98》	令和3年度	宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地	
	環境応用化学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成24年度		令和3年度より学生募集停止
	社会環境システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成24年度		令和3年度より学生募集停止
	環境ロボティクス学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成24年度		令和3年度より学生募集停止
	機械設計システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成24年度		令和3年度より学生募集停止
	電子物理工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成24年度		令和3年度より学生募集停止
	電気システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成24年度		令和3年度より学生募集停止
	情報システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成24年度		令和3年度より学生募集停止
	農学部									
	農学科	4	235	—	235	学士（農学）	1.03	令和7年度	宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地	
	獣医学科	6	30	—	180	学士（獣医学）	1.12 《1.07》	平成22年度		
	植物生産環境科学科	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成22年度		令和7年度より学生募集停止
	森林緑地環境科学科	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成22年度		令和7年度より学生募集停止
	応用生物科学科	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成22年度		令和7年度より学生募集停止
	海洋生物環境学科	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成22年度		令和7年度より学生募集停止
	畜産草地科学科	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成22年度		令和7年度より学生募集停止
	地域資源創成学部									
	地域資源創成学科	4	90	—	360	学士（地域資源創成学）	1.08 《1.05》	平成28年度	宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地	
	大 学 院 の 名 称 宮崎大学大学院									
	研 究 科 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度		
		年	人	年次人	人		倍			
	教育学研究科								宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地	
	（専門職学位課程）									
	教職実践開発専攻	2	20	—	40	教職修士（専門職）	0.92	令和2年度		
	健康科学研究科								宮崎県宮崎市清武町木原5200番地	
	（修士課程）									
	看護学専攻	2	10	—	20	修士（看護学）	1.15	平成26年度		
	工学研究科								宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地	
	（修士課程）									
	工学専攻	2	144	—	288	修士（工学）	1.15	平成28年度		
	農学研究科								宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地	
	（修士課程）									
	農学専攻	2	68	—	136	修士（農学） 修士（水産学） 修士（学術）	1.05	平成26年度		
	地域資源創成学研究科								宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地	
	（修士課程）									
	地域資源創成学専攻	2	5	—	10	修士（地域資源創成学）	1.20	令和2年度		
	医学獣医学総合研究科								宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地	
	（修士課程）									
	医科学獣医科学専攻	2	10	—	20	修士（医科学） 修士（動物医科学）	1.05	平成26年度	宮崎県宮崎市清武町木原5200番地	
	（博士課程）									
	医学獣医学専攻	4	23	—	92	博士（医学） 博士（獣医学）	1.56	平成22年度		
	医学系研究科								宮崎県宮崎市清武町木原5200番地	

名称：附属図書館・医学分館 目的：学術情報の収集・蓄積・提供、学習環境の整備を目的とする。 所在地：宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎県宮崎市清武町木原5200番地 設置年月：昭和49年6月 規模等：※土地 778,523㎡(木花キャンパス) 建物 4,977㎡ 224,316㎡(清武キャンパス) 建物 1,908㎡ ※土地の面積は、キャンパスの総面積	
名称：教育学部附属教育協働開発センター 目的：学部、大学院及び地域社会における教育の発展充実に寄与することを目的とする。 所在地：宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 設置年月：平成25年10月 規模等：※土地 778,523㎡(木花キャンパス) 建物 534㎡ ※土地の面積は、キャンパスの総面積	
名称：医学部附属病院 目的：診療を通して医学の教育及び研究に資することを目的とする。 診療科数：30診療科 病床数：604床（共通病床等を含む） 所在地：宮崎県宮崎市清武町木原5200番地 設置年月：昭和52年4月18日 開院年月：昭和52年10月31日 規模等：土地 224,316㎡(医学部全体の面積) 建物 77,296㎡	
名称：農学部附属次世代農学教育研究センター 目的：フィールドにおける農学ジェネラリティ教育、農学基本分野を横断した実践型農学DX教育及び地域のニーズを踏まえた他学部との組織的な融合教育・研究を行うことを目的とする。 所在地：宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地（木花フィールド） 宮崎県宮崎市大字島之内10100-1（住吉フィールド） 宮崎県宮崎市田野町乙 11300（田野フィールド） 宮崎県延岡市赤水町 376-6（延岡フィールド） 設置年月：令和7年4月 規模等：※土地 778,523㎡(木花キャンパス) 建物 2,615㎡ ※土地の面積は、キャンパスの総面積 土地 502,040㎡(住吉フィールド) 建物 9,754㎡ 土地 6,185,887㎡(田野フィールド) 建物 990㎡ 土地 6,104㎡(延岡フィールド) 建物 1,069㎡	
名称：農学部附属動物病院 目的等：動物診療（二次診療病院）、地域の獣医師の相談・研修の施設等の提供を目的とする。 所在地：宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 設置年月：昭和28年8月 規模等：※土地 778,523㎡(木花キャンパス) 建物 1,867㎡ ※土地の面積は、キャンパスの総面積	
名称：農学部附属農業博物館 目的等：農業に関する調査研究・実物標本、模型、文献等を収集・保管・展示することを目的とする。 所在地：宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 設置年月：平成10年4月 規模等：※土地 778,523㎡(木花キャンパス) 建物 766㎡ ※土地の面積は、キャンパスの総面積	
名称：大学院地域資源創成学研究科附属地域資源情報活用センター 目的：地域課題の解決に向けた実践的な高度人材養成のため、地域資源の見える化・デジタル化を通じた情報システムの活用によるAI時代の人材育成の新たな拠点として、県内地方自治体及び他部局と連携を図り、宮崎大学による地方創生支援に寄与することを目的とする。 所在地：宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 設置年月：令和2年4月 規模等：※土地 778,523㎡(木花キャンパス) 建物 25㎡ ※土地の面積は、キャンパスの総面積	
名称：教育学部附属幼稚園 目的：幼児の保育及び幼稚園の教育研究・教育実習・教育振興を目的とする。 所在地：宮崎県宮崎市船塚1丁目1番地 設置年月：昭和42年6月 規模等：土地 21,797㎡ 建物 913㎡	
名称：教育学部附属小学校 目的：児童の教育及び小学校の教育研究・教育実習・教育振興を目的とする。 所在地：宮崎県宮崎市花殿町7番49号 設置年月：昭和26年4月 規模等：土地 39,980㎡(附属中学校の敷地を含む) 建物 7,162㎡	
名称：教育学部附属中学校 目的：生徒の教育及び中学校の教育研究・教育実習・教育振興を目的とする。 所在地：宮崎県宮崎市花殿町7番67号 設置年月：昭和26年4月 規模等：土地 39,980㎡(附属小学校の敷地を含む) 建物 7,409㎡	

	名称：IRセンター 目的：大学の目標・計画、運営方針の策定及び意思決定を支援することを目的とする。 所在地：宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 設置年月：平成25年10月 規模等：※土地 778,523㎡(木花キャンパス) 建物 632㎡(事務室の一部に設置のためフロア面積で記載) ※土地の面積は、キャンパスの総面積	
	名称：総合技術センター 目的：教育研究の支援のための技術開発及び技術業務並びに学生の技術指導を行うとともに、技術の継承及び保存並びに技術研修を行うことを目的とする。 所在地：宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 設置年月：平成25年10月 規模等：※土地 778,523㎡(木花キャンパス) 建物 ー 224,316㎡(清武キャンパス) 建物 ー ※土地の面積は、キャンパスの総面積	
	名称：安全衛生保健センター 目的：学生及び職員の心身の健康の保持増進・全学的な安全衛生管理を目的とする。 所在地：宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 設置年月：平成17年4月 規模等：※土地 778,523㎡(木花キャンパス) 建物 434㎡(事務室の一部に設置のためフロア面積で記載) ※土地の面積は、キャンパスの総面積	
	名称：情報基盤センター 目的：宮崎大学における情報施策の立案・策定、点検・検証及び情報基盤の運用管理を行うとともに、利用者支援を行うことを目的とする。 所在地：宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 設置年月：平成22年10月 規模等：※土地 778,523㎡(木花キャンパス) 建物 1,254㎡ ※土地の面積は、キャンパスの総面積	

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(健康科学研究科看護学専攻博士後期課程)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員(助手を除く)		
基盤科目	地域創成ヘルスケアシステム論	1前		2			○	※		2					1	※演習 オムニバス、共同（一部）	
	地域学・政策学特論	1前		2			○			3	1					オムニバス	
	看護実践知デザイン論	1後			1		○			4						オムニバス、共同	
	ヘルスデータサイエンスと政策・マネジメント論	1後			2		○			3	1				1	オムニバス、共同（一部）	
	基盤的研究方法特論	1前			1		○								4	オムニバス	
	サイエンスコミュニケーション特論	2後			2		○								3	共同	
	小計（6科目）	—	—	4	6	0	—			9	2	0	0	0	7	オムニバス、共同（一部）	
専門科目	ヘルスケアデザイン看護学特論	1前		2			○			13	6	1	1		1		オムニバス、共同（一部）
	ヘルスケアデザイン看護学演習	1後		2				○		13	6	1	1				
	小計（2科目）	—	—	4	0	0	—			13	6	1	1	0	1		
特別研究	ヘルスケアデザイン看護学特別研究	1～3		6				○		13	6	1	1				
	小計（1科目）	—	—	6	0	0	—			13	6	1	1	0	0		
	合計（ 9科目）	—	—	14	6	0	—			13	6	1	1	0	8		
学位又は称号		博士（看護学）			学位又は学科の分野				保健衛生学関係（看護学関係）								
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等								
博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位16単位以上（基盤科目の必修科目4単位、基盤科目の選択必修科目2単位以上、専門科目の必修科目4単位、特別研究6単位）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。									1 学年の学期区分				2期				
									1 学期の授業期間				15週				
									1 時限の授業の標準時間				90分				

教 育 課 程 等 の 概 要																
(健康科学研究科看護学専攻博士後期課程)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員以外 の教員	
基盤科目	地域創成ヘルスケアシステム論	1前		2			○	※		2					1	※演習 オムニバス、共同（一部）
	看護実践知デザイン論	1後			1		○			4						オムニバス、共同
	ヘルスデータサイエンスと政策・マネジメント論	1後			2		○			3	1				1	オムニバス、共同（一部）
	基盤的研究方法特論	1前			1		○								4	オムニバス
	サイエンスコミュニケーション特論	2後			2		○								3	共同
	小計（5科目）	—	—	2	6	0	—			8	1	0	0	0	7	
専門科目	ヘルスケアデザイン看護学特論	1前		2			○			13	6	1	1		1	オムニバス、共同（一部）
	ヘルスケアデザイン看護学演習	1後		2				○		9	5	1	1			
	小計（2科目）	—	—	4	0	0	—			13	6	1	1	0	1	
特別研究	ヘルスケアデザイン看護学特別研究	1～3		6				○		9	5	1	1			
	小計（1科目）	—	—	6	0	0	—			9	5	1	1	0	0	
合計（ 8科目）		—	—	12	6	0	—			13	6	1	1	0	8	
学位又は称号		博士（看護学）			学位又は学科の分野				保健衛生学関係（看護学関係）							
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法									授 業 期 間 等							
博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位16単位以上（基盤科目の必修科目4単位、基盤科目の選択必修科目2単位以上、専門科目の必修科目4単位、特別研究6単位）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。									1 学年の学期区分				2期			
									1 学期の授業期間				15週			
									1 時限の授業の標準時間				90分			

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(健康科学研究科看護学専攻博士後期課程)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員以外 の教員 (助手を除く)		
基盤科目	地域学・政策学特論	1前		2			○			3	1					オムニバス	
	小計 (1科目)	—	—	2	0	0	—			3	1	0	0	0	0		
専門科目	ヘルスケアデザイン看護学演習	1後		2				○		4	1						
	小計 (1科目)	—	—	2	0	0	—			4	1	0	0	0	0		
特別研究	ヘルスケアデザイン看護学特別研究	1～3		6				○		4	1						
	小計 (1科目)	—	—	6	0	0	—			4	1	0	0	0	0		
合計 (3科目)		—	—	10	0	0	—			4	1	0	0	0	0		
学位又は称号		博士 (看護学)			学位又は学科の分野				保健衛生学関係 (看護学関係)								
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法									授 業 期 間 等								
博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位16単位以上（基盤科目の必修科目4単位、基盤科目の選択必修科目2単位以上、専門科目の必修科目4単位、特別研究6単位）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。									1 学年の学期区分				2期				
									1 学期の授業期間				15週				
									1 時限の授業の標準時間				90分				

授業科目の概要				
（健康科学研究科看護学専攻博士後期課程）				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
基盤科目	地域創成ヘルスケアシステム論		(概要)医療機関・在宅・施設・地域等の多様な場で展開される看護実践を基軸として、人口減少・高齢化・人材偏在などの地域課題を背景に、医療・看護・介護・福祉・行政・コミュニティが相互に支え合う「ヘルスケアシステム」を多角的に理解する。地域の健康課題を、看護実践の視点から制度・資源・担い手・成果指標に着目して構造化し、データ（疫学・社会経済）を用いて可視化する。さらに、多主体連携やICT等を含むサービス設計を検討し、実装可能性と評価枠組みを踏まえた持続可能な地域ヘルスケアシステムの構想を提案する力を養う。 (オムニバス・共同（一部）／全15回) (③ 板谷 智也／7回) 第1回 オリエンテーション：地域創生ヘルスケアシステム論の全体像 第2回 基礎概念①：地域創生とヘルスケアシステム（前半） 第3回 基礎概念②：地域創生とヘルスケアシステム（後半） 第12回 災害時の地域ヘルスケアシステムとレジリエンス（前半） 第13回 災害時の地域ヘルスケアシステムとレジリエンス（後半） 第14回 最終発表：地域創生ヘルスケアシステムの「構想スケッチ」発表 第15回 まとめ・振り返り：学びの統合と今後の展望 (④ 根岸 裕孝／2回) 第4回 地域創生と国土・地域計画（前半） 第5回 地域創生と国土・地域計画（後半） (⑨ 土屋 有／2回) 第8回 地域創生と公益経営（前半） 第9回 地域創生と公益経営（後半） (③ 板谷 智也・⑨ 土屋 有／2回）（共同） 第6回 多様な主体による協働と地域ネットワーク（前半） 第7回 多様な主体による協働と地域ネットワーク（後半） (③ 板谷 智也・④ 根岸 裕孝／2回）（共同） 第10回 評価と政策提言（前半）：地域実装を評価する視点 第11回 評価と政策提言（後半）：Policy Brief作成演習	オムニバス・共同（一部） ※ 講義18時間 演習12時間
	地域学・政策学特論		(概要)人間が暮らす生活の基本圏域である地域（都市・農村・中山間等）について、歴史・文化・社会・経済・環境を理解・把握する意義について理解を深めるとともに、人間が地域において協力・助け合いながら地域で生きるための地方自治体の政策の形成や地域におけるイノベーションに必要な組織形成・運営、組織改革や組織を超えた共創関係に関する実践について理解を深める。 (オムニバス／全15回) (④ 根岸 裕孝／3回) 第1回 地域学：地域の概念と地域学 第2回 地域学：地域学の役割 第3回 地域学：地域・国土の形成の歴史と制度 (⑧ 松岡 崇暢／3回) 第4回 地域社会学：農村の役割と機能 第5回 地域社会学：市民参画による地域づくりの可能性 第6回 地域社会学：地域運営組織の基礎的サーベイ (⑤ 谷田貝 孝／6回) 第7回 政策学パート：社会の「青写真」を描く 第8回 政策の論理構成 ― 構造化とエビデンスの統合 第9回 社会実装の戦略 ― インパクトの可視化と合意形成 第10回 組織学パート：変革を動かす「エンジン」を設計する 第11回 組織内変革 ― 巨大システムを内側から動かす 第12回 多主体共創のエコシステム ― 境界を越える組織運営 (⑥ 丹生 晃隆／3回) 第13回 経営学：ヘルスケア・イノベーション① 第14回 経営学：ヘルスケア・イノベーション② 第15回 経営学：ヘルスケア・イノベーション③	オムニバス
	看護実践知デザイン論		(概要)本科目では、臨床・在宅や地域における看護・医療・保健提供の実践現場に内在する複雑かつ不確実な課題を対象に、デザイン思考の枠組みを活用して解決策や支援モデルを創出、可視化、共有する過程を実践知の創出プロセスとして学修する。デザイン思考とは、「不確実で正解のない問題」に対して、未知のニーズの発見・着想をもとに新たな問題定義・課題構造の明確化を行い、仮説設定・アイデア創造、さらに検証のためのプロトタイプ（試作）による試行錯誤を通して、知を生成していくアプローチ方法である。看護や医療・保健が提供されている現場である退院支援、家族支援、高齢者・慢性疾患療養支援、小児保健・医療、予防医療など、履修生自身の関心あるフィールドを設定し、フィールドワークを通して得られた経験や気づきをもとに支援の工夫や実践の意味を実践知として、言語化・構造化し、他者と共有して、看護実践の質向上に還元する能力を修得する。 (オムニバス・共同／全8回) (8 田上 博喜・10 野間口 千香穂／2回）（共同） 第1回 ガイダンス、【理論編】 第7回 【実践知の言語化】：フィールドで得られた気づきや失敗、工夫のプロセスを記述し、言語化する。 (5 木下 由美子・⑤ 谷田貝 孝／5回）（共同） 第2回 【実践編（1）】：基礎 第3回～第6回 【実践編（2）】：現場での試行錯誤 (8 田上 博喜・10 野間口 千香穂・5 木下 由美子・⑤ 谷田貝 孝／1回）（共同） 第8回 まとめ（総括的省察）：プレゼンテーション	オムニバス・共同

授 業 科 目 の 概 要				
(健康科学研究科看護学専攻博士後期課程)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
基盤科目	ヘルスデータサイエンスと政策・マネジメント論		(概要)地域における健康課題を科学的に分析し、エビデンスに基づく政策立案(EBPM)や実践改善につなげることを目的とする。本授業では、①地域医療構想・救急搬送・保健・医療・福祉統計や NDB・MID-NET などの公的・医療ビッグデータ、②環境省エコチル調査や新生児スクリーニング事業といったライフコースに沿ったコホート・スクリーニングデータ、③GIS による地理的可視化、医療コンサルティングデータ、AI を用いた業務・安全管理データなど、多様なヘルスデータの特徴と活用方法を総合的に学ぶ。これらの具体的事例を手がかりに、データから課題を抽出し、施策や支援モデルに結びつけるプロセスを学ぶことで、個々の研究テーマを整理・構造化することを目指す。 (オムニバス・共同(一部)／全15回) (2 澤田 浩武／4回) 第1回 オリエンテーションと日本・宮崎の健康課題 第3回 ライフコースデータ①：エコチル調査・新生児スクリーニング 第4回 ライフコースデータ②：学校健診データと学校保健 第7回 統計解析とデータビジュアライゼーション①(基礎) (23 中井 陸運／1回) 第2回 ヘルスデータの種類と特徴 (③ 板谷 智也／2回) 第8回 統計解析とデータビジュアライゼーション②(応用：災害看護×GIS) 第11回 AIを用いたヘルスデータ分析とマネジメント②(行政・地域マネジメントへの応用) (⑦ 新田 汐里／2回) 第5回 NDBによる医療利用・疾病構造の把握 第6回 NDBを活用した地域ヘルスケア課題の分析とケアモデル設計 (15 杉山 智行／3回) 第9回 統計解析とデータビジュアライゼーション③(実践：GISハンズオン) 第10回 AIを用いたヘルスデータ分析とマネジメント①(看護業務改革と安全管理への応用) 第12回 ステークホルダー共創による地域ヘルスケアマネジメントと医療コンサル事例 (2 澤田 浩武・③ 板谷 智也・⑦ 新田 汐里・15 杉山 智行／3回)(共同) 第13回 各自テーマに基づくミニ研究／政策案の立案① 第14回 ミニ研究／政策案の立案② 第15回 最終発表と総括	オムニバス・共同(一部)
	基盤的研究方法特論		(概要)実験計画立案、資料収集、実施、評価及び論文作成時の重要事項を概説する。具体的には、適切な研究計画の立案、実施及び評価について、また研究実施、試料および資料の収集時に考慮しなければならない医療倫理、得られた情報を適切に管理するための情報セキュリティの考え方、さらにはその結果を学術誌に投稿するまでの英文作成法について総合的に講義する。加えて、研究結果から発生する知的財産権の取り扱いについても提示する。 (オムニバス／全8回) (25 池之上 辰義／2回) 第1回 研究計画方法①(疫学及び統計を含む) 第2回 研究計画方法②(疫学及び統計を含む) (27 池田 正浩／3回) 第3回 情報セキュリティ 第5回 知的財産権 第8回 総括：振り返り (24 板井 孝一郎／1回) 第4回 生命・医療倫理 (23 中井 陸運／2回) 第6回、第7回 医療データ解析・マネジメント	オムニバス
	サイエンスコミュニケーション特論		(概要)大学院生相互の理解を深め、研究成果活用方法について視野を広げ、新たな興味を喚起することが可能となる。また、学生は自らの研究の進捗状況等を発表することで、プレゼンテーションスキルの向上を目指す。 (共同／全15回) (授業計画) 各大学院生が、自ら行っている研究課題についての口演発表を行う。 各指導教員の指導の下に、研究成果のまとめ、文献的考察、位置付けを行い、学会発表形式で口演を行う。発表は、すべての大学院生及び関係する指導教員による分析・検証を受け、問題点を明らかにし、お互いにその方法を探る。 口演発表後は、自らの研究課題に関する問題点の整理やその解決法、並びに今後の研究の展望についてのレポートを提出する。 領域等ごとに輪番制で割り振り、毎年年度初めに計画表を配付し、授業計画とする。	共同

授 業 科 目 の 概 要				
(健康科学研究科看護学専攻博士後期課程)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目	ヘルスケアデザイン看護学特論		(概要)臨床・地域・在宅の領域を横断する健康課題を、社会構造や生活文脈の中で捉え直し、看護学を基盤に公衆衛生学・制度／組織・政策の観点を統合して分析する。多様な領域の実例を通して、実践・制度・組織・政策へとつなぐ実装プロセスを学ぶ。あわせて文献検索と文献クリティークの方法を習得し、関心のある健康課題について連続性のある複数の研究・文献を批判的に検討したうえで、実装に向けた一連のプロセス（ストーリー）としてまとめ、発表と討議を行う。 (オムニバス・共同（一部）／全15回) (③ 板谷 智也／1回) 第1回 ガイダンス (③ 板谷 智也・① 大川 百合子・2 澤田 浩武・3 吉永 尚紀／2回)（共同） 第2、3回 健康課題の社会構造や生活文脈の中での再定義と、実践・制度・組織・政策への実装プロセス実例① (9 関屋 伸子・10 野間口 千香穂・11 金子 政時／2回)（共同） 第4、5回 健康課題の社会構造や生活文脈の中での再定義と、実践・制度・組織・政策への実装プロセス実例② (5 木下 由美子・8 田上 博喜・4 柳田 俊彦・3 吉永 尚紀・② 山崎 啓子／2回)（共同） 第6、7回 健康課題の社会構造や生活文脈の中での再定義と、実践・制度・組織・政策への実装プロセス実例③ (30 仲上 豪二郎／2回) 第8、9回 健康課題の社会構造や生活文脈の中での再定義と、実践・制度・組織・政策への実装プロセス実例④ (3 吉永 尚紀・⑦ 新田 汐里／2回)（共同） 第10回、11回 文献検索と文献クリティークの方法 (③ 板谷 智也・① 大川 百合子・5 木下 由美子・2 澤田 浩武・9 関屋 伸子・8 田上 博喜・10 野間口 千香穂・11 金子 政時・4 柳田 俊彦・3 吉永 尚紀・⑦ 新田 汐里・② 山崎 啓子・④ 根岸 裕孝・⑤ 谷田貝 孝・⑥ 丹生 晃隆・15 杉山 智行・17 吉永 砂織・⑧ 松岡 崇暢・19 松浦 祐之介・21 船橋 英樹・22 黒木 修司／3回)（共同） 第12回、13回、14回 文献検索と文献クリティーク (③ 板谷 智也・① 大川 百合子・5 木下 由美子・2 澤田 浩武・9 関屋 伸子・8 田上 博喜・10 野間口 千香穂・11 金子 政時・4 柳田 俊彦・3 吉永 尚紀・30 仲上 豪二郎・⑦ 新田 汐里・② 山崎 啓子・④ 根岸 裕孝・⑤ 谷田貝 孝・⑥ 丹生 晃隆・15 杉山 智行・17 吉永 砂織・⑧ 松岡 崇暢・19 松浦 祐之介・21 船橋 英樹・22 黒木 修司／1回)（共同） 第15回 プレゼンテーション・意見交換	オムニバス・共同（一部）
	ヘルスケアデザイン看護学演習		(概要)自治体・医療機関・地域組織との連携を通して、フィールドワークと文献検討にもとづく実践課題の抽出・整理を行い、研究課題の精選と研究の全体像（将来的な社会実装や政策提言へのロードマップを含むストーリー）を設計する。臨床と地域の両視点を持ちながら課題解決に取り組み、適切な研究手法の選択、倫理・実行可能性の検討を踏まえて研究計画書ドラフトを作成する。作成したドラフトは、担当教員への模擬発表と討議を通して改善点と次段階の課題を整理し、「ヘルスケアデザイン看護学特別研究」での計画確定と実施に向けた論点を整える。 【教員の研究分野】 (① 大川 百合子) 【看護におけるComfort Careの検証および開発に関する研究】 (2 澤田 浩武) 【地域ヘルスデータを基盤とした小児期からの健康戦略に関する研究】 (3 吉永 尚紀) 【メンタルヘルス支援における心理学的アプローチに関する研究】 (4 柳田 俊彦) 【薬物療法看護に関連する研究】 (5 木下 由美子) 【がん予防教育およびがん患者のQuality of Life に関する研究】 (② 山崎 啓子) 【成人先天性心疾患等を含めた循環器疾患全般に関連する研究】 (③ 板谷 智也) 【在宅看護、公衆衛生看護および災害看護の視点から、地域の健康課題に対する実践的研究（GIS分析や質的調査を含む）】 (8 田上 博喜) 【精神看護における実践の開発およびケアの質向上に関する研究】 (9 関屋 伸子) 【女性の健康と周産期における助産診断・助産ケアの評価指標・支援ツール開発に関する研究】 (10 野間口 千香穂) 【慢性疾患や長期的障害をもつ子どもと家族の療養・生活支援に関する研究】 (11 金子 政時) 【女性、胎児、新生児の健康と感染症予防に向けた周産期学・医工学に関連する研究】 (④ 根岸 裕孝) 【持続可能な地域づくりと国土・地域政策に関する研究】 (⑤ 谷田貝 孝) 【知性・創造性開花とそれらを支援する組織制度・政策に関する研究】 (⑥ 丹生 晃隆) 【中小・ベンチャー企業によるイノベーション創出に関する研究】 (15 杉山 智行) 【地域経済・産業政策に関する研究】 (17 吉永 砂織) 【ライフコースの多様化に応じた看護職による運動支援に関する研究】 (⑦ 新田 汐里) 【看護理工学に基づく非侵襲的スキニングアセスメントとケア評価に関する研究】 (19 松浦 祐之介) 【高齢循環器疾患患者における予後規定因子に関する研究】 (⑧ 松岡 崇暢) 【協働による地域資源の維持管理と市民主体のまちづくりに関する研究】 (21 船橋 英樹) 【搔痒に関する中枢神経系機序と神経伝達物質の解明】 (22 黒木 修司) 【骨粗鬆症の評価と治療の早期介入に関する研究】	

授 業 科 目 の 概 要				
(健康科学研究科看護学専攻博士後期課程)				
科目 区分	授業科目の名称	主要授 業 科目	講義等の内容	備考
特 別 研 究	ヘルスケアデザイン看護学 特別研究		(概要)臨床と地域を統合する独自の研究テーマに基づき、「ヘルスケアデザイン看護学演習」で得たフィールドワーク・文献検討の成果を踏まえて研究課題を最終決定し、研究指導教員の助言・指導のもとで研究計画書を提出用として整備・確定する。2年次前期の「ヘルスケアデザイン・オープンラボ」では研究計画を提示し、多様なステークホルダーとの意見交換を通して、実施に向けた最終調整を行う。その後、必要に応じて倫理審査を経てデータ収集・分析を進め、博士論文の作成、学術誌投稿、公開論文発表会・論文審査までを体系的に推進し、成果発信へとつなげる。 【教員の研究分野】 (① 大川 百合子) 【看護におけるComfort Careの検証および開発に関する研究】 (2 澤田 浩武) 【地域ヘルスデータを基盤とした小児期からの健康戦略に関する研究】 (3 吉永 尚紀) 【メンタルヘルス支援における心理学的アプローチに関する研究】 (4 柳田 俊彦) 【薬物療法看護に関連する研究】 (5 木下 由美子) 【がん予防教育およびがん患者のQuality of Life に関する研究】 (② 山崎 啓子) 【成人先天性心疾患等を含めた循環器疾患全般に関連する研究】 (③ 板谷 智也) 【在宅看護、公衆衛生看護および災害看護の視点から、地域の健康課題に対する実践的研究（GIS分析や質的調査を含む）】 (8 田上 博喜) 【精神看護における実践の開発およびケアの質向上に関する研究】 (9 関屋 伸子) 【女性の健康と周産期における助産診断・助産ケアの評価指標・支援ツール開発に関する研究】 (10 野間口 千香穂) 【慢性疾患や長期的障害をもつ子どもと家族の療養・生活支援に関する研究】 (11 金子 政時) 【女性、胎児、新生児の健康と感染症予防に向けた周産期学・医工学に関連する研究】 (④ 根岸 裕孝) 【持続可能な地域づくりと国土・地域政策に関する研究】 (⑤ 谷田貝 孝) 【知性・創造性開花とそれらを支援する組織制度・政策に関する研究】 (⑥ 丹生 晃隆) 【中小・ベンチャー企業によるイノベーション創出に関する研究】 (15 杉山 智行) 【地域経済・産業政策に関する研究】 (17 吉永 砂織) 【ライフコースの多様化に応じた看護職による運動支援に関する研究】 (⑦ 新田 汐里) 【看護理工学に基づく非侵襲的スキニングアセスメントとケア評価に関する研究】 (19 松浦 祐之介) 【高齢循環器疾患患者における予後規定因子に関する研究】 (⑧ 松岡 崇暢) 【協働による地域資源の維持管理と市民主体のまちづくりに関する研究】 (21 船橋 英樹) 【掻痒に関する中枢神経系機序と神経伝達物質の解明】 (22 黒木 修司) 【骨粗鬆症の評価と治療の早期介入に関する研究】	

国立大学法人宮崎大学 設置申請に関わる組織の移行表

令和 8 年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
宮崎大学			
教育学部			
学校教育課程	140	—	560
医学部			
医学科（6 年制）	100	—	600
看護学科	60	—	240
工学部		3 年次	
工学科	370	10	1,500
農学部			
農学科	235	—	940
獣医学科（6 年制）	30	—	180
地域資源創成学部			
地域資源創成学科	90	—	360
計	1,025	10	4,380

令和 9 年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
宮崎大学				
教育学部				
学校教育課程	140	—	560	
医学部				
医学科（6 年制）	100	—	600	
看護学科	60	—	240	
工学部		3 年次		
工学科	370	10	1,500	
農学部				
農学科	235	—	940	
獣医学科（6 年制）	30	—	180	
地域資源創成学部				
地域資源創成学科	90	—	360	
計	1,025	10	4,380	

国立大学法人宮崎大学 設置申請に関わる組織の移行表

令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
宮崎大学大学院			
教育学研究科			
教職実践開発専攻 (P)	20	—	40
看護学研究科			
看護学専攻 (M)	10	—	20
工学研究科			
工学専攻 (M)	144	—	288
農学研究科			
農学専攻 (M)	68	—	136
地域資源創成学研究科			
地域資源創成学専攻 (M)	5	—	10
医学獣医学総合研究科			
医科学獣医科学専攻 (M)	10	—	20
医学獣医学専攻 (D)	23	—	92
農学工学総合研究科			
資源環境科学専攻 (D)	7	—	21
生物機能応用科学専攻 (D)	4	—	12
物質・情報工学専攻 (D)	5	—	15
計	296	—	654

令和9年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
宮崎大学大学院				
教育学研究科				
教職実践開発専攻 (P)	20	—	40	
健康科学研究科				名称変更
看護学専攻 (M)	10	—	20	
心理学専攻 (M)	6	—	12	専攻の設置 (意見伺い)
看護学専攻 (D)	3	—	9	課程変更 (意見伺い)
工学研究科				
工学専攻 (M)	144	—	288	
農学研究科				
農学専攻 (M)	68	—	136	
地域資源創成学研究科				
地域資源創成学専攻 (M)	5	—	10	
医学獣医学総合研究科				
医科学獣医科学専攻 (M)	10	—	20	
医学獣医学専攻 (D)	23	—	92	
農学工学総合研究科				
資源環境科学専攻 (D)	8	—	24	定員変更 (1)
生物機能応用科学専攻 (D)	4	—	12	
物質・情報工学専攻 (D)	8	—	24	定員変更 (3)
計	309	—	687	